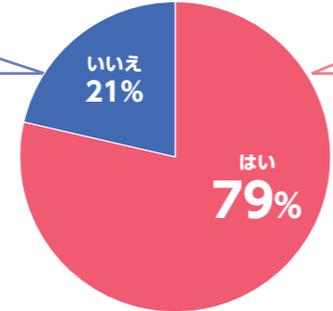
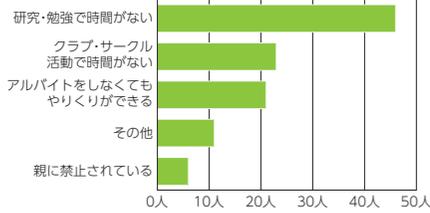


関大生“アルバイト”事情

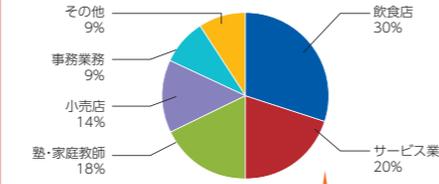
【アンケート期間：10月18日～10月25日 対象：関大生 回答者数：374人（男子147人 女子227人）】

Q.今現在、アルバイトをしていますか？

Q.アルバイトをしない理由は何ですか？(複数選択可)



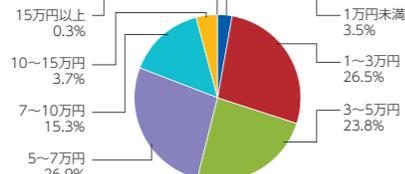
Q.どのようなアルバイトをしていますか？(複数選択可)



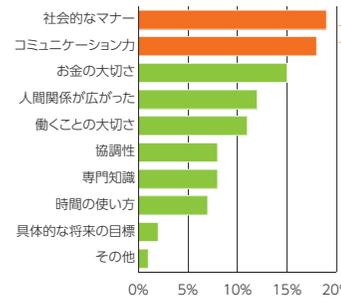
男女別でみると、女子は飲食店が34%と全体からみると少し多めで、男子はサービス業が25%、塾・家庭教師が23%と全体より多めの結果に。

「いくつアルバイトをしていますか？」の質問に対しては「1つ」と答えた方が、全体の66%。中には「4つ以上」と答えた方が男子3人、女子で1人いました。

Q.1カ月のアルバイト代はいくらですか？(複数のアルバイトをされている方は合算)



Q.アルバイトを通して、身に付けたこと、得たものはありますか？(複数選択可)



やはり、社会的なマナーや、コミュニケーション力など、社会に出るためのスキルを、アルバイトを通して身に付けている学生が多い、という結果に。3位の「お金の大切さ」を学ぶことで、ご両親への感謝の気持ちが湧いてくるのでは？ 4位の「人間関係が広がった」からは、大学以外の人間関係を築く場として、アルバイトを捉えている学生もいることが分かった。

Q.アルバイトを通して、印象深いエピソードがあれば教えてください。

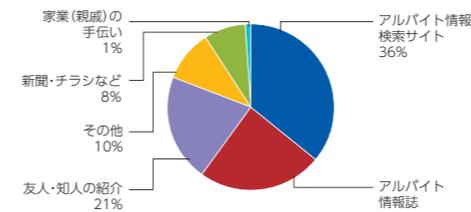
学部・学年	性別	エピソード
法2	男	日本で初めてアルバイトをした時、言葉や習慣の不安がありました。しかし、店の先輩が仕事の内容を丁寧に教えてくれて、店長にもいろいろお世話になり、人間関係づくりが非常に大事だと感じました。将来の就職活動に向けて、良い経験ができました。
法3	女	私は居酒屋でアルバイトをしています。お客さんに「笑顔がいいね」とか、「おいしかった！また来るわ」と言ってもらえると本当にうれしいです。
商1	男	アルバイトでお客さまに積極的に話し掛ける業務を繰り返していると、コミュニケーションに関する問題ある程度克服できました。おかげでアルバイトを通して友達が増えました！
社2	女	1時間くらいフリーマージンが居座っていたこと。働くって理不尽なことにも謝らなくては行けなくて、大変だなとあらためて思った。
社3	女	アルバイトを始めて2年くらい経ったとき、社員さんに「もうこのことは任せてるから、よろしく」と言われました。信頼していただけていることを実感できたし、より一層強い責任を感じた瞬間でした。
社4	女	結納文具店でアルバイトをしています。誰も使っていないだろうと思われる古い商品が意外と需要があったり、その一方で次々と取引先の問屋さんがつぶれていったり、こんな小さな場所からでも社会の流れ(文具業界の衰退と需要)を感じることができるのだと思いました。

皆様のご両親が学生時代のころ(30年前)の関大生と比較してみました。

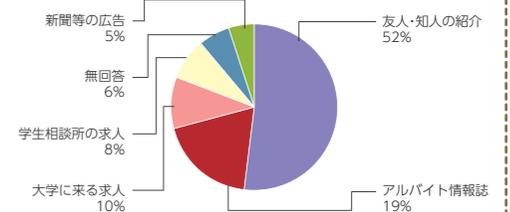
現在の関大生

30年前(昭和58年)の関大生

Q.あなたはアルバイトをどのように見つけますか？(複数回答可)

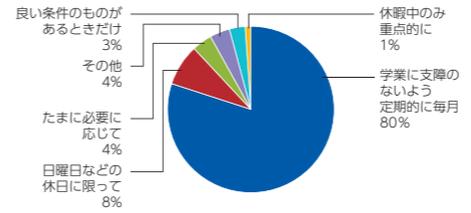


30年前にはなかった「アルバイト情報検索サイト」が現在では1位に。インターネットの普及がアルバイト探しにも大きく影響を与えている。30年前は「友人・知人の紹介」が52%だったのが、今は21%となり、アルバイト探しの手段が豊富になった？!

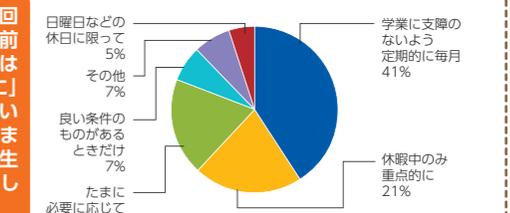


(学生生活実態調査報告書より)

Q.あなたはアルバイトをどの程度やっていますか？(1つ選択)



「学業に支障のないよう定期的に毎月」と回答した方が、現在の関大生は8割、30年前は4割。現在の関大生にとってアルバイトは日常となっている。「休暇中のみ重点的に」の回答が、現在の関大生は1%しかいないのに対し、30年前の関大生は21%、「たまに必要に応じて」の回答も30年前の関大生は19%と多く、30年前の関大生は、集中してアルバイトをしていた？

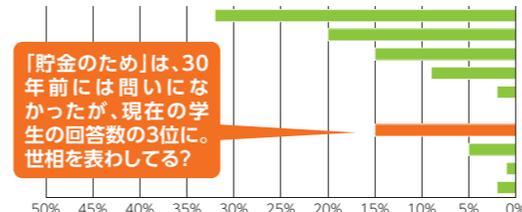


(学生生活実態調査報告書より)

Q.アルバイトをする理由の主なものを挙げてください。(2つまで選択可)

(2つまで選択可)

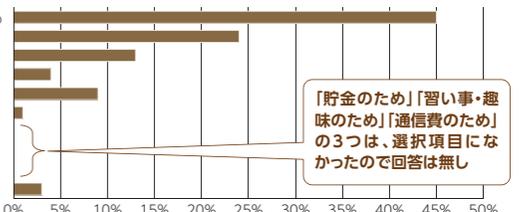
「貯金のため」は、30年前には問いになかったが、現在の学生の回答数の3位に。世相を表わしてる？



娯楽・交際レジャー費に充てるため
社会経験のため
生活費のため
修学費に充てるため
余暇の時間が多いため
学生生活が面白くないため
貯金のため
習い事・趣味のため
通信費のため
その他

(2つ選択してください)

「貯金のため」「習い事・趣味のため」「通信費のため」の3つは、選択項目になかったので回答は無し



1位、2位は、現在も30年前の関大生も変わらず。全体的に傾向は変わらず！

(学生生活実態調査報告書より)



OPINION OF PROFESSOR 社会学部 森田 雅也教授

アルバイトを通して身に付けたものとして、「社会的なマナー」と「コミュニケーション力」が上位にきています。しかし、新入社員に不足しているものとして企業が挙げているのもこれらです。

「人的資源管理論」の授業で、「アルバイトの利点は」と尋ねると、「好きな時に休める」「責任がない」と多くの学生が答えます。続けて、「じゃあ、あなたが経営者

なら、そう考える人を積極的に雇いたいですか」と問うと、いったん間を置いて、「雇わないですねえ…」。

ということは、自分たちが考えている仕事に必要な力と、会社が考えているそれらとの間にはかなりの差があるのかも知れません。例えば、「こういう場合、店長ならどうするか」をいつも考えながらアルバイトをすることは、この差を埋めていく一つの方法でしょう。せっかくアルバイトをするなら、「賃金以外にもっと多くのものを組織から得てやろう」と取り組んでみてはどうでしょうか。

ところで、私は教員として結果を見ることはできませんが、さらに30年後のアルバイト探しの手段はどうなっているのかも楽しみです。

次号のテーマは…「関大生と“運動・スポーツ”」

2014年は冬季オリンピックにワールドカップと、世界中がスポーツで盛り上がる年になるでしょう。そこで、次号の誌上教室では、体育会、サークル、個人的な趣味などで、普段から運動・スポーツをしている関大生の皆さんにアンケートを実施し、スポーツの魅力や思い、そこから見えてくるものを徹底調査します。

12月号「関大誌上教室」アンケート プレゼント当選者の発表について

今号の「関大誌上教室」アンケート「関大生“アルバイト”事情」にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。プレゼントの発表は、当選者のみ、インフォメーションシステム「個人伝言」で連絡します(12月2日に通知予定)。

「関大誌上教室」のアンケートは次号以降も行う予定ですので、ご協力をよろしくお願いいたします。